

境港市民交流センター（仮称）基本設計（案）市民説明会

日 時：平成29年3月11日（土）10時～11時15分

場 所：境港市保健相談センター講堂

参加者：30名

内 容：下記のとおり

1. あいさつ（木下防災監）
2. 基本設計（案）の説明（山田自治防災課長）
3. 質疑応答（⇒：市からの回答内容）

質問）ホール内の照明設備や照度に不足がないようお願いしたい。また、楽屋は会議室と兼用することだが、なるべくステージの近くに配置してほしい。

⇒ホール内の照明は、平土間での展示も想定して設置する。楽屋はステージ裏に整備し、足りない場合は2階の会議室を兼用するが、一部の会議室は間仕切りで半分に仕切り、複数の部屋として使えるようにしたいと考えている。

質問）LED照明が広がっているので、舞台照明に検討してほしい。

⇒省エネの観点からも検討していきたい。

質問）事務室には、施設職員に加え高齢者福祉機能が入ると聞いている。福祉関係の業務では個人情報扱うので、個人情報漏れることがないように配慮してもらいたい。

⇒高齢者福祉機能として入居する団体は決まっていないが、個人情報の扱いには気を付けて対応するよう、今後協議していきたい。

質問）実施設計の段階で、ワークショップや説明会を開催する予定があるか？

⇒来年から2ヶ年で管理運営計画を作るので、その段階でワークショップの開催を検討している。実施設計では、業者から出てきた提案内容をもとに、利用団体等から意見を聞く予定である。

質問）今回、公園の整備は含まれていないと聞いているが、目的がなくても立ち寄れる公園の整備を検討してほしい。市民の意見を反映させるにあたっては、既成概念にこだわらず、施設の利用方法を考えていくことが必要だと思う。また、施設のコンセプトを大事にほしい。

⇒今回の事業に公園の整備は含まれていないが、公園との一体利用は今回の事業の大きな目的なので、今後検討していきたい。先日のワークショップでも公園の一体利用について意見をもらっており、設計業者からも提案をもらっているので、その内容を今後市民に説明していきたい。

質問）図書交流機能はホールと違って街づくりの拠点なので、図書館の専門家を入れた準備委員会を設置し、開館への準備を進めていく必要がある。また、2Fに職員がいらないようなので、安全面で不安に思う。例えば、中庭を減らしてスペースを確保し、文化財倉庫の隣に市史編さん室の職員が常駐すれば、調査研究の場になるし、見回りも可能になる。

⇒複合施設として整備するので、図書館だけの目的にそのような委員会を設ける必要があるか検討する。2Fの職員配置については、2Fには自治防災課の職員が常駐しているほか、会議室付近では図書館職員が文化財倉庫に出入りすることがあるので、全く無人ではない。なお、中庭を減らすと建物の面積が増えるので、中庭としてはこの程度の面積が必要。

質問) ガラス張りで光を採る場合、夏は全体に日光が当たり、本への影響は、室温上昇につながるのではないか？

⇒東側は全面ガラス張り、南側には、ルーバーという庇のようなものを設ける。室温の上昇への対策については、室温上昇を抑えるガラスもあると聞いており、対応を設計業者と協議しているところ。

質問) 公園側に本が読めるポーチ、2Fカフェの横に本や雑誌が読めるカウンターを設けるなど、実施設設計の段階で市民の希望や意見を聞く計画があるか？

⇒実施設計の段階では、設計業者からの提案内容をもとに、利用団体から意見を聞く予定。